

令和5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市早掛レイクサイドヒルキャンプ場		
指定管理者	団体名	むつ商工会議所	
	代表者	会頭 内田 大輔	
	所在地	むつ市小川町2-11-4	
指定期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日 (5年間)		
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自然とふれあい、心身の健康増進を図るため、市民参加型のイベントを実施し地域住民が交流しながら自然と親しむ場を提供する事業。 ・周遊型観光の促進を図るため、観光施設の案内、観光情報の発信、地場製品のPRを積極的に実施し観光客のリピーター化の促進を図る事業。 ・常に清潔・安全・快適な施設を提供するための維持管理業務。 		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	11,688	11,412	▲276
うち利用料金額	4,025	3,765	▲260
うち指定管理料	7,469	7,469	0
支出合計 (B)	11,688	8,545	▲3,143
うち人件費	2,350	1,153	▲1,197
収支差 (A-B)	0	2,867	2,867
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由			

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	有料利用者	5,600	4,482	▲1,118
	無料利用者	900	406	▲494
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無) 多人数の利用者の遅い時間の騒音に対する苦情が寄せられた。受付時に遵守事項を記した注意書きを説明配布し、管理人による見回りを実施した。また、利用許可がない車両が場内へ侵入することが度々あるため、事故防止及び安全対策として出入り口付近へ入場制限を促す表示を設置した。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
オープンイベント (無料開放)	105	0	3
BBQ祭り	139	178	331
利用促進キャンペーン	51人/14件	191	16

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優 良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適 正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準で達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

㊦指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。
管理棟前の倒木危険がある樹木の伐採を行った。また、各ケビンハウスの玄関前及びベランダ床の塗装作業を自主的に行った。

7. 市の所管課総合評価

㊦所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。
新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことを受け利用者数が増加したことから、利用者間での利用の仕方に関する苦情なども微増したが、臨機応変に対応し適正な利用を促した。
利用促進を図るための自主事業の実施や、場内の環境整備を職員自らが行うなど管理経費の削減への取組は評価する。今後もキャンプ需要は見込まれることから、当該施設の認知度向上及び適切な維持管理を実施していくこと。